

協議結果

次の協議会を下記のとおり開催した。

名称	第3回益田市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和4年3月29日(火) 14:00~15:30
開催場所	益田市立市民学習センター 多目的ホール
出席者	<p>○出席者</p> <p>[益田市地域公共交通活性化協議会委員]</p> <p>島田博会長、加藤博和副会長、渡辺健一委員、藤原政志委員、山本勝利委員、景山弘太郎委員、川崎友弘委員、伏谷正明委員、品川勝典委員、鬼村まり子委員、佐藤稔委員、吉本徳生委員、石川洋紀委員、岩崎伸史委員、中島克仁委員、仲田千恵理委員、石川秀文委員、野村美夜子委員</p> <p>[事務局]</p> <p>連携のまちづくり推進課</p> <p>田原課長、清水課長補佐、多久和主任主事、前田会計年度任用職員</p> <p>○欠席者</p> <p>[益田市地域公共交通活性化協議会委員]</p> <p>原忠男委員、平西邦裕委員、坂本博志委員、村岡宙委員、草野和馬委員、岡崎朝子委員、豊田芳明委員、三浦恭嗣委員、梅津明則委員</p>
議事	議題1 益田市地域公共交通計画策定について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	政策企画局連携のまちづくり推進課 電話 0856-31-0600

協議経過

1. 開会	
2. 議題	
議題1 益田市地域公共交通計画(素案)の確認 資料1	
<p>前回までの会議で第1章、第2章について、意見を頂いており、事務局が修正した内容に対して、追加の意見はでなかった。本会議では、第3章、第4章の範囲について協議することとした。</p> <p>○第3章 基本方針 基本目標 目標に向けた施策</p> <p>・事務局から説明</p> <p>○第3章 基本目標1 市民の日常生活やまちづくりを支える地域公共交通網の形成</p>	
委員	<p>地域・住民と連携した利用促進がについて、もう少し具体的なものや、他の地域で行っている例示など、市民の方が見て助けになるようなガイドライン等を載せることはできませんか。</p>

事務局	地域との連携については、地域と一緒にって取り組んでいきたい思いで記載しております。記載方法については、事務局で例示なのか写真なのか考えます。
委員	待合・乗合環境の改善検討についてですが、こちらも具体的に記載できないでしょうか。生活バスから路線バスに乗り換えをするのに15分以上の待ち時間があるので、待合場所をつくれとは言わないが、乗継時間を1分以内にするなど検討してほしい。利用者の向上にもつながるし、計画の中でもPR出来るものになる。
委員	路線バスの時間に合わせて1分前に到着するように、生活バスをゆっくり運行したり、途中でどこかに止まって調整するなど、往路便だけでも出来ないか。
会長	生活バスが遅れて到着した場合に路線バスも到着を待つ事は出来ますか。
委員	次の接続もあるので到着を待つのは厳しい。
事務局	計画の中に記載というよりも、事業を実施する中で、今の待ち時間を少しでも短くできるように、出来る範囲で取り組む形が良いと思います。
○第3章 基本目標2 利用しやすい地域公共交通サービスの提供	
委員	アンケート内の公共交通の維持確保についての所で、地域が主体となり、新たな公共交通を運行するという回答が一番多いですが、路線バスとの調整もあるかもしれませんが、美都地区で行われている自治会輸送は増えていない状況なので、地域が担うサービスの提供なども充実すればいいかなと考えます。
事務局	各地域からは、何とかできないかと相談されることもありますが、道路運送法の兼ね合いもあるため、なかなか想いを形するのが難しい状況です。また、安全性なども考慮する必要があるため、まずは交通事業者と話をしてから進めていただきたいと思います。
○第3章 基本目標3 持続可能な地域公共交通の仕組みづくり	
委員	モビリティ・マネジメントは日本語にならないか。
事務局	モビリティ・マネジメントという言葉があるので、余白に記載するか等、書き方を検討します。
委員	上手な公共交通の使い方ということで、益田市として、公共交通を利用して住みよい町づくりを行う事になると思いますので、どうしたらモビリティ・マネジメントを理解してもらえるか。誰をターゲットにするか、学生なのか、マイカーを利用している人なのか絞ってみるのもいいかもしれません。そのため、実施主体も教育委員会なども関連するかもしれません。
事務局	参考にさせていただきます。
会長	第3章全体を通してご意見有りますか。
委員	公共交通の利用状況を路線別にみると、利用者が0人の所もある。これはどうとらえたらよいか。また、アンケート内には公共交通の便数が少ないという声が多いですが、市街地は結構便数も多くあるように思うので、雪舟ラインなどの観光交通だけでなく、生活交通として中心地の一定金額での乗り放題など戦略的取組みがあってもいいかと感じました。

事務局	利用者の減少については、特に益田駅から15km以上離れている地区においては、5年間で見直しを進めていきたいと思えます。
会長	バスの500円サービスの状況はどうでしょうか。
委員	コロナが拡大してから実施出来ていませんが、コロナが明ければ再開していきたいと思えます。
会長	タクシーは定額のサービスはございますか。
委員	タクシーには定額など出来ない状況なので、行っていません。
委員	路線バスやタクシーを活用した観光ルートの開発を検討と記載がありますが、これは、既存の観光ルートとは別に、新たに開発するということでしょうか。
事務局	新しいものではなく、今あるものの継続になります。
委員	観光ルートについては、広報力が足りないと感じているので、広報力のアップも入れていただきたいです。
事務局	追加します。
○第4章 計画の評価と進行管理	
・事務局から説明	
委員	基本目標2 利用しやすい地域公共交通サービスの提供ですが、満足度の普通が3点ですが、目標が2.9点なので、3点よりは上にしていきたい。
会長	基本目標1 市民の日常生活やまちづくりを支える地域公共交通網の形成についても、現状維持となっていますが、これも維持で良いのでしょうか。
事務局	基本目標2については、修正したいと思えます。基本目標1については、人口減少や、免許返納者数の増加等考え、現状維持とさせていただきます。
委員	基本目標2については、3以上は必要だと思えます。
○その他	
会長	今後のスケジュールを教えてください。
事務局	4月に令和4年度第1回目の協議会を予定しております。その後、パブリックコメントを予定しております。
3. 閉会	